

## ふじみ野市 校務DX計画

### 1. 1人1台端末（指導者用）の整備

令和6年9月の校務用PC端末の更新により1人1台端末（指導者用）の整備を完了。

### 2. ネットワークの改善

- ・現在、市内小中学校の全校において、普通教室、特別教室、体育館でインターネットの接続が可能。
- ・令和4年度及び令和5年度に実施した接続調査を踏まえ、令和6年8月にルータを上位機種に変更するとともにISPの変更を行う。
- ・文部科学省が示す学校規模ごとの1校あたりの帯域の目安（当面の推奨帯域）の値を参考に、令和7年9月までにネットワークアセスメント等から課題を特定し、順次改善策の検討を開始する。

### 3. 校務のデジタル化

- ・FAXでのやり取りや押印について、クラウドサービスの活用や書類の電子化を推進することで、令和7年度中に原則廃止とする予定。
- ・名簿情報等の手入力作業について、令和6年度から校務支援システムと他のシステムやソフトウェアの連携を進め、不必要な作業の削減を図る。
- ・令和9年度の校務支援システムの更新に向け、校務系ネットワーク・システム等の現状分析や、望ましい校務の在り方に関する検討を令和6年度から実施する。

### 4. 1人1台端末の活用と個別最適・協働的な学びの充実

- ・1人1台端末を活用した個別最適・協働的な学びの充実には、教職員がソフトウェアを積極的に利活用することが前提となる。そのため、各ソフトウェアの使用法に関する研修を毎年実施するとともに、他の自治体並びに市内の優良な事例を共有する研修を年数回実施する。

### 5. 学びの保障

- ・不登校児童生徒については、希望があった場合に端末を活用した授業への参加・視聴の機会が提供できる体制を整備する。
- ・外国人児童生徒や特別な支援を要する児童生徒等、児童生徒の実態に応じて端末を活用した支援を実施する体制を整備する。